

審議会等の会議結果報告書

【担当課】 生涯学習課

会議の名称	令和2年度 第2回茅野市社会教育委員の会議		
開催日時	令和3年3月17日(水) 午後1時30分～午後3時30分		
開催場所	茅野市役所 8階大ホール		
出席者	宮坂昌一委員長、大作公明副委員長、大下京子委員、金田照俊委員、田島幸秀委員、志津千代子委員、宮坂章委員、矢崎智義委員、矢崎美知子委員 山田利幸教育長、北沢政英生涯学習部長、有賀淳一こども部長、藤森隆生涯学習課長、河西茂廣生涯学習係長、畑中紀之教育指導主事、柳平美穂生涯学習係主査、伊藤利恵文化芸術係長、平出信次中央公民館長、辻井まどか同教育係長、五味一男図書館長、両角香代同係長、五味健志文化財課長、小池岳史同文化財係長、守矢昌文尖石縄文考古館長、山科哲同係長、両角徹生八ヶ岳総合博物館長、柳川英司同係長、中澤正明神長官守矢史料館長、両角勝元同担当、中村浩明スポーツ健康課長、牛山明広同係長、五味留美子こども課長、宮下孝同係長		
欠席者	市川純章委員、向川原一仁委員、永澤美代子家庭教育センター館長		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
事務局(生涯学習課長)	1 開会		
教育長	2 山田教育長あいさつ 公民館では19講座中16講座を実施できたということで、コロナ禍ではありましたが、創意工夫して開催しました。小学校卒業式の校長の式辞でも、全ての学校で創意工夫して乗り切ったという趣旨の言葉があり、それぞれの立場で創意工夫を重ねた一年だったと思います。本日は社会教育関係事業等の報告をさせていただきます。よろしく願いいたします。		
委員長	3 委員長あいさつ 日本リスを見に運動公園に出かけた保育園児たちが、リスの観察や撮影をしている人と交流を深め、質問をしたり、説明を聞いたりしている様子を見たときに、コロナで人との関わりが制限されている中ですが、人と人との直接のつながりは大切だと感じました。茅野市の社会教育に関する施設を運営している皆さん方におかれましては企画が思うように進まない中でしょうが、少しずつでも顔が見える活動を推進していただきたいと思います。私たち社会教育委員もできるだけのお手伝いをしたいと思います。		
事務局(生涯学習係長)	4 審議会の公開について 審議に先立ち、本日の会議の公開、議事録の公開について説明及び確認を行う。		

	<p>非公開基準に該当する項目はないため、当会議を公開とする。議事録に関しては、委員名を表示せずにホームページで公開する。</p> <p>(1) 令和2年度社会教育関係主要事業報告・課題について 資料2に基づき、各課・施設から一括説明を行う。</p> <p>(2) 質疑応答、意見交換</p>
委員	<p><生涯学習課事業関係> 「公民協働による生涯学習のまちづくりの推進」の中に「里山の自然を活かした体験とふれあいの場づくり」とありますが、「市民の森」は含まれないのでしょうか。</p>
生涯学習係長	<p>「市民の森」についても公民協働で取り組んでいる事業に変わりはないのですが、所管しているのが環境課のため、ここには掲載していません。</p>
委員	<p><家庭教育センター事業関係> 各種講座はニーズがあるので家庭教育センターに留まらず、市内各地区に出向いて開催してみたいかと思いますが。</p>
生涯学習課長	<p>全市市民を対象として講座開催しており、ニーズも捉えていなかったのと考えておりませんが、ご意見はセンター長に伝えます。</p>
委員	<p>家庭教育センターを会場に女性団体連絡協議会の主催で「ちょっと早いクリスマス会」を行いました。15組限定だったのですが参加者の多くは諏訪市からであり、広い地域での利用があると思います。</p>
委員長	<p><文化財課事業関係> 平成18年に永明中学校の中庭を、市教育委員会（文化財課）が生徒と1年かけて遺跡発掘したことがあります。来年度実施する永明中学校グラウンド遺跡発掘調査の中で、そうした学校教育と連携した活動が行えないでしょうか。</p>
文化財係長	<p>生徒が地域の歴史に直にふれることができる好機ですので、先生方と相談しながら社会科等の授業にいかしていきたいと思います。</p>
委員	<p>『縄文かるた』は子どもたちに好評で、追加で購入したいという人がいたのですが、どこで買えるのでしょうか。</p>
縄文考古館長	<p>尖石縄文考古館で購入できます。</p>
文化財係長	<p>考古館での販売に加え、昨年度まで市内の保育園で1日ずつ対面販売をしていたのですが、コロナでできませんでした。来年度は再開したいと考えています。</p>

委員	<p>復元住居のカヤのメンテナンスについて、業者に委託して行うだけでなく、市民参加で実施して、子どもたちの体験学習の場にできないでしょうか。コミュニティースクールの一環として地域のことを学べる機会にもなると思います。</p>
縄文考古館長	<p>縄文プロジェクトの一環である「縄文を識る推進事業」の中で、市民参加ができる「縄文風の小屋を作ってみよう」というイベントを開催してきました。史跡公園に復元している住居ほどのしっかりした作りのものではありませんが、縄文時代の住居を建てるという学習の場にはなったと思っています。令和2年度は新型コロナの関係で中止しましたが、令和3年度については再開を目指したいと考えています。</p>
委員長	<p>博物館のプラネタリウムは人気の講座で、今年はコロナ禍でも実施できるように特殊な機械で工夫して開催をしていただいたようですが、可動式プラネタリウムの出張投影はなかったということでしょうか。</p>
総合博物館長	<p>3密対策として本年度は中止としたため、投影はありませんでした。</p>
副委員長	<p>藤森照信先生の土地に茶室などがありますが、案内がありません。藤森作品を観ることはできるのでしょうか。また、先日縄文特集のテレビ番組で「守矢の神」を取り上げていました。神長官も縄文文化との関わりに焦点を当てて紹介してみたいはいかがでしょうか。</p>
博物館係長	<p>藤森照信先生の作品は、建設の際にこちらに通告的なものはなかったもので、関知していません。守矢史料館に関しては、守矢文書に記載されていること以外のことは説明しておりません。根拠のないことは言えない状況です。</p>
生涯学習課長	<p>高過庵、低過庵、空飛ぶ泥舟は市民館事業においてワークショップで作成し、高部の地に据えたものです。作品の見学等は、市民館における企画展等で頻繁に開催している状況です。</p>
委員	<p><スポーツ健康課事業関係> 運動公園陸上競技場の公認更新については新聞でも報道されていますが、その後どうなっていますか。</p>
スポーツ健康課長	<p>陸上競技場の公認については、財政上の理由により公認の更新は行わないこととしており、令和3年11月30日をもって公認期間が終了する見込みです。今後の公認の取得については、市の財政状況を見ながら、理事者及び陸上競技関係団体との協議を進めていきたいと考えています。</p>
生涯学習部長	<p>公認を更新するためには、トラック等走路のウレタン舗装の改修に多額の費用がかかることから、公認の更新を見送ることとしています。陸上競</p>

	<p>技場の改修費用については、受益者負担の考えから利用者が改修費用の一部を負担することとし、陸上競技団体が寄付金を集めて改修費用の一部に充てるといった動きもあります。また、運動公園内の施設は老朽化が進み、陸上競技場のほかにも改修を要する施設が多くあり、限られた予算の中で計画的に施設の改修を行わなければなりません。そのため、茅野市スポーツ協会と連携して、運動公園施設の整備計画の策定を進めてまいります。ここで改修費用について触れておいたほうが良いと思いますので、担当者からご説明します。</p>
スポーツ健康係長	<p>運動公園陸上競技場は昭和 57 年に建設し、平成 23 年に現在の全天候舗装に全面改修され、改修費用は約 2 億 4 千万円です。公認更新のための改修費用は、令和 3 年度が約 8 千万円。5 年後の更新時の令和 8 年度には約 5 千万円。さらに 5 年後の更新時の令和 13 年度には 1 億円以上の改修費用を要し、今後 10 年間では 2 億から 3 億円の費用を見込んでいます。このように令和 3 年度に限ったことではなく、今後 10 年、20 年先まで、高額の改修費用を要することを見据えた中で、公認の更新を見送ることとしています。</p>
委員	<p>陸上競技場公認の更新については、スポーツ協会の構成団体である陸上競技協会が、独自に市に対して要望書の提出などを行っているため、スポーツ協会では詳細の把握はしていませんが、スポンサーを募ることや諏訪地域の市町村に負担を求めても良いのではないかと話も出ています。この問題を契機として、市からは運動公園施設を維持していく為の協力を求められており、今後は市とスポーツ協会が連携して施設整備を計画していきたいと考えています。</p>
委員	<p><こども課関係事業> 今年度の街頭啓発は新型コロナウイルスの影響で規模を縮小して実施したようですが、例年参加している関係者は出席を予定していたため、その旨連絡していただければよかったと思います。</p>
こども課長	<p>今後、連絡を徹底するようにいたします。</p>
委員	<p><全体を通して> この会議は、事業報告に対していろいろ言う場ではなく、もっと大きな方向性を議論する場ではないでしょうか。物事には、プランがあって、それを実行して検討してアクションを起こす PDCA サイクルで向上していくということがあると思うので、この「プラン(P)」の部分を掲載するような資料にしてもらえれば、アドバイスができると思います。</p>
生涯学習課長	<p>ご意見を参考に検討したいと思います。</p>
委員	<p>高等学校には、市役所を始め、様々な部署から協力要請が来るので、学校からの支援として 18 歳までは情報伝達が可能です。問題は、それ以降の年</p>

<p>委員</p>	<p>代、特に 20 代から 30 代の青年に社会教育をどう届けていくかというところの課題があると感じています。</p> <p>コロナ禍で PTA 活動が何もできない中、様々な研修の機会を与えていただき、幅広い知識が身につきました。残念だったのは、会議も開けずその報告を他の PTA 役員へ伝達できなかったことですが、一年間大変お世話になりました。</p>
<p>事務局（生涯学習係長）</p>	<p>5 その他</p> <p>委員に配布した資料の案内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度 学校における生涯学習の推進読書教育推進事業実施報告書 ・長野県社教委連会報
	<p>6 閉会</p> <p style="text-align: right;">～午後 3 時 30 分 会議終了～</p>